



Title	＜書評＞「リプレイ」（ケン・グリムウッド著，新潮文庫，600円）
Author(s)	飲茶， 点心
Citation	大阪公衆衛生． 1993， 63， p. 22-22
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/83844
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

『リプレイ』

ケン・グリムウッド著

新潮文庫 600円

30年、40年、それよりもっと生きていくと、その人生の中で思い出したくもない恥ずかしいこと、つらいことが山ほど積み重なり、後悔の念で一杯になることがあります。

もし、これから起こることがすべて判っていたら、失敗なんかすることなく生きていくことができ、後悔することなくなるのではないかと考えます。

SFの世界ではタイム・マシーンやなんかで主人公が時空を行き交うというよくある題材ですが、この本は厳密にはSFではなくファンタジーという部類にはいるようで、SF音痴の私にはその違いもわかりませんが、とにかくこの本はそんなチャンスを手に入れた男の話です。

なんの因果かこの主人公、ある時点で死んでは、何年か前に逆のぼって、幾度も生き返るという目にあってしまうのです。あるときはその人生に成功し、あるときは失敗する。

しかし、無限にあると信じていたこの繰り返しにも限界があると悟った時、確実に近づいてくる死に直面しなければならなかった。

そして、先のわからない人生というものがどんなに素晴らしいものかに気づく。確かに先が見えないから人生はおもしろいのだというひともいるけれども、それでもやっぱり、人生をやり直したいと思うことはありませんか。

この本は、そんな夢もみさせてくれる本です。

(飲茶点心)